

「小谷家住宅」保存に尽力

美術にも造詣 ノーベル賞・大村さん

ノーベル医学生理学賞の受賞が決まった大村智さん(60)は美術にも造詣が深いことで知られる。明治期の画家青木繁が滞在し、代表作「海の幸」を描いた「小谷家住宅」(館山市布良)の保存にも協力。館山市の関係者からも祝福の声が上がった。

(北浜修)

小谷家住宅は市有形文化財だが、築約百二十年と老朽化し、現在は、来年四月の一般公開を目指して修復

工事中。大村さんが理事長を務める美術家らのグループ「NPO法人青木繁『海の幸』会」(川崎市)、地

元住民団体「青木繁(海の幸)誕生の家と記念碑を保存する会」(館山市)、小

谷家、館山市の四者が連携して、保存に動いている。

館山市によると、大村さんは二〇一二年、小谷家

住宅の保存を今後進める事業に指定し、三百万円の寄付もしている。

「保存する会」事務局長

で、NPO法人安房文化遺産

フオーラム代表の愛沢伸

雄さん(66)は六日、「保存

する会」で、大村さん

に敬意を表し、祝電を送り、「市は『海の幸』への思いをキーワードに、小谷家住宅を市民の誇りとする」ことを誓った。文化財活動を展開されている大村先生には今後とも、市の発展にお力添えを賜りますようお願い申し上げます」と要請した。

金丸謙一市長は六日、大村さんに祝電を送り、「市は『海の幸』への思いをキーワードに、小谷家住宅を市民の誇りとする」ことを誓った。文化財活動を展開されている大村先生には今後とも、市の発展にお力添えを賜りますようお願い申し上げます」と要請した。

に協力していただいている人がノーベル賞受賞とは大変光栄なこと」と喜んだ。

大村さんは保存活動を通じて、館山を訪れることがあるという。愛沢さんは「世界的な研究者でありながら、絵画などの収集家として美術にも造詣が深い、稀有な人」と話した。

現在の小谷家当主、小谷福哲さん(68)も五日夜、「受賞決定はテレビで知った。候補とは聞いてはいたが、すばらしい。性格は温厚で誰にも気さくに話し掛けてくれる人。本当におめでたいおめでとうございます」と祝福

した。

に協力していただいている人がノーベル賞受賞とは大変光栄なこと」と喜んだ。

大村さんは保存活動を通じて、館山を訪れることがあるという。愛沢さんは「世界的な研究者でありながら、絵画などの収集家として美術にも造詣が深い、稀有な人」と話した。

現在の小谷家当主、小谷福哲さん(68)も五日夜、「受賞決定はテレビで知った。候補とは聞いてはいたが、すばらしい。性格は温厚で誰にも気さくに話し掛けてくれる人。本当におめでたいおめでとうございます」と祝福

した。

昨年8月、館山市内で開かれた青木繁「海の幸」オマージュ展で、展示された複製画を見る大村さん



修復工事前の小谷家住宅。館山市で(昨年5月撮影)



昨年8月、小谷家住宅を訪れた大村さん。後ろは同住宅の管理棟(いずれも愛沢さん提供)

青木繁「海の幸」誕生の家 館山市関係者も祝福

に協力していただいている人がノーベル賞受賞とは大変光栄なこと」と喜んだ。

大村さんは保存活動を通じて、館山を訪れることがあるという。愛沢さんは「世界的な研究者でありながら、絵画などの収集家として美術にも造詣が深い、稀有な人」と話した。

現在の小谷家当主、小谷福哲さん(68)も五日夜、「受賞決定はテレビで知った。候補とは聞いてはいたが、すばらしい。性格は温厚で誰にも気さくに話し掛けてくれる人。本当におめでたいおめでとうございます」と祝福した。

に協力していただいている人がノーベル賞受賞とは大変光栄なこと」と喜んだ。

大村さんは保存活動を通じて、館山を訪れることがあるという。愛沢さんは「世界的な研究者でありながら、絵画などの収集家として美術にも造詣が深い、稀有な人」と話した。

現在の小谷家当主、小谷福哲さん(68)も五日夜、「受賞決定はテレビで知った。候補とは聞いてはいたが、すばらしい。性格は温厚で誰にも気さくに話し掛けてくれる人。本当におめでたいおめでとうございます」と祝福した。

に協力していただいている人がノーベル賞受賞とは大変光栄なこと」と喜んだ。

大村さんは保存活動を通じて、館山を訪れることがあるという。愛沢さんは「世界的な研究者でありながら、絵画などの収集家として美術にも造詣が深い、稀有な人」と話した。

現在の小谷家当主、小谷福哲さん(68)も五日夜、「受賞決定はテレビで知った。候補とは聞いてはいたが、すばらしい。性格は温厚で誰にも気さくに話し掛けてくれる人。本当におめでたいおめでとうございます」と祝福した。